



# 全国 54,000 人のボランティア救助員の活動を支援しています 青い羽根募金活動レポート 2012

効率的かつ安全な海難救助活動を行うためには、日常頃から組織的な訓練を行うとともに、救命胴衣やロープなどの救難資機材の整備や救助船の燃料等も必要となります。これらに必要な資金は全国的な募金活動によって集められています。

中日海洋少年団の「青い羽根募金」活動の様子

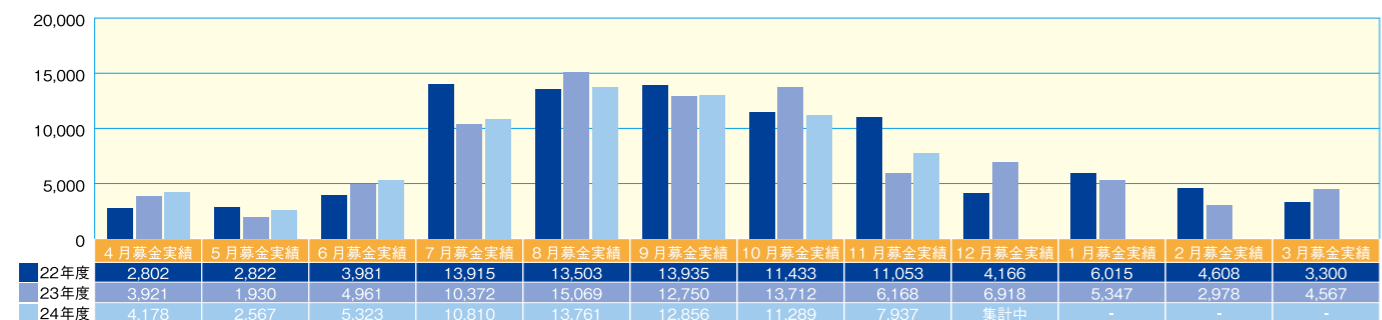
## 平成24年度「青い羽根募金」の状況

本年度も「海の日」を中心に7～8月の2ヵ月間を「青い羽根募金強調期間」と銘打ち、全国都道府県水難救済会と協力して積極的に募金活動を実施。全国の多くの皆様から青い羽根募金の趣旨にご賛同をいただき、暖かいご支援をいただいています。

海上保安庁、防衛省など関係省庁をはじめ、都道府県、企業、団体などからもご支援をいただきました。特に防衛省の陸上、海上、および航空自衛隊の隊員の皆様や、海洋少年団および学校生徒会の皆様に募金活動へのご協力をいただきました。

皆様のご支援により、11月(4月から11月末の集計)までに、68,721,015円の募金をいただきました(下図・青い羽根募金実績参照)。

### ■青い羽根募金実績 単位：千円



## 「青い羽根募金」にご協力いただき、ありがとうございました。



東京海洋大学学生寮様

平成25年1月16日、東京海洋大学海王寮において、今年度募金活動を行った寮生の皆様へ日本水難救済会向田理事長から日本水難救済会会長感謝状及び事業功労有功盾を贈呈しました。



千代田区海洋少年団様

千代田区海洋少年団では、平成25年1月12日、今年の初訓練にあわせ、団員の皆様に日本水難救済会会長感謝状が披露されました。



陸上自衛隊補給統制本部様

平成24年10月24日、陸上自衛隊補給統制本部において、同本部副本部長中野成典様へ日本水難救済会上岡常務理事から日本水難救済会会長感謝状及び事業功労有功盾を贈呈しました。



若築建設株式会社様

平成25年1月15日、若築建設(株)東京本社において、同社代表取締役専務執行役員松尾耕造様へ日本水難救済会上岡常務理事から日本水難救済会会長感謝状及び事業功労有功盾を贈呈しました。



白方漁業協同組合・今治造船株式会社様

平成24年6月20日、サンポートホール高松において、白方漁業協同組合数内兵三様及び今治造船(株)執行役員都築恵様へ香川県水難救済会琴陵会長から日本水難救済会会長感謝状及び事業功労有功盾を贈呈しました。



海上自衛隊佐世保地方総監部様

平成24年10月4日、海上自衛隊佐世保地方総監部において、同総監部防衛部長眞鍋浩司様へ長崎県水難救済会福田副会長から日本水難救済会会長感謝状及び事業功労有功盾を贈呈しました。



東洋建設株式会社様

平成25年1月22日、東洋建設(株)本社において、同社代表取締役社長毛利茂樹様へ日本水難救済会向田理事長から日本水難救済会会長感謝状を贈呈しました。



清水海洋少年団様

清水海洋少年団では、平成25年1月13日、カッターの「初乗り式」において、団員や参列者の皆様に日本水難救済会会長感謝状が披露されました。

## 青い羽根募金支援自動販売機の設置状況

日本水難救済会では、売上金の一部が青い羽根募金として寄附される「青い羽根募金支援自動販売機」の設置を全国的に推進しています。平成24年12月末現在の全国における設置台数は505台となっております。



### 富山県水難救済会

富山県水難救済会では、平成24年6月8日、魚津市漁港定坊割の「魚津漁業協同組合」の荷さばき施設に富山県としては初めてのガイドードリンコの青い羽根募金支援自販機第1号機を設置しました。  
また、同年9月20日にも射水市八幡町の「新湊漁業協同組合」の施設内に第2号機を設置しました。



### 大阪府水難救済会

大阪府水難救済会では、平成24年9月28日、堺市堺区築港南町の「堺3区港湾労働者福祉会館前」に同水難救済会の青い羽根募金支援自販機の第1号機を設置しました。  
また、10月30日には堺市堺区大浜西町に所在し、堺出島漁港で水揚げされるタコ、カレイ、アナゴ、シャコなど獲れたての魚介類を販売している「とれとれ市」等に2号機、3号機を設置しました。



### 岡山県水難救済会

岡山県水難救済会では、岸壁からの海中転落事故に備える目的で「救命浮環内蔵型」青い羽根募金支援自販機設置を進めていますが、平成24年9月27日、倉敷市水島西千鳥町のタチバナ工業(株)中国支店敷地内に水島港としては初めての「救命浮環内蔵型」自販機を設置しました。

## 青い羽根募金活動

日本水難救済会では、海上保安庁のご協力をいただき、平成24年11月10日、東京都品川区西五反田の「ゆうぼうとホール」で開催された「海上保安庁音楽隊第19回定期演奏会」において、青い羽根募金活動を実施しました。

定期演奏会は、ほぼ満席の盛況で、来場者の皆様から沢山の募金をいただきました。



## 「青い羽根募金」を原資としたライフリングプロジェクト

日本水難救済会の各地方組織では、岸壁・防波堤における海中転落事故による死者・行方不明者が海浜事故の約6割を占めていることから、一般人の海中転落事故発生のおそれのある桟橋及び海浜公園に救命浮環を設置する「ライフリングプロジェクト(救命浮環設置事業)」を展開しております。

### 千葉県水難救済会

千葉県水難救済会は、千葉海上保安部の指導を受けるとともに千葉港湾事務所と協力し、平成24年7月5日、千葉市美浜区磯辺の「検見川の浜突堤」にライフリング2台を設置しました。  
同突堤は、市民の憩いの場として、釣り客や一般市民に開放されておりますが、平成24年1月18日に釣り人の転落死亡事故が発生しており、再発防止の観点から、転落や溺水事故が発生した際に即応できるよう設置したものです。



## 青い羽根募金による救難資器材の整備

東日本大震災の大津波により、保有していた救助資器材が流出する等甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県及び茨城県水難救済会の22救難所に携帯用拡声器、双眼鏡、トランシーバー、強力ライト、担架等の救難資器材を合計90個整備しました。  
また、昨年度受入れ体制が整わず救難資器材の整備が遅れた宮城県水難救済会の14救難所にヘルメット140個、閉上救難所に800ワットの携帯用発電機1台(投光器等付属品を含む)を整備しました。



### マスコットキャラクターデザイン募集

公益社団法人日本水難救済会では、海で遭難した方々の救助を行うボランティアを支える当会の活動に広く国民の皆様にご理解を深めていただくため、様々な広報・啓発活動の機会に使用するマスコットキャラクターのデザインを募集いたします。  
多くの皆さまのご応募お待ちしております。

**【賞】**  
最優秀賞 1点 20万円  
優秀賞 5点 1万円/点の商品券

**【募集期間】**  
平成24年11月1日(木)から平成25年1月31日(水)の募集です

**【応募資格】**  
年齢、国籍、職業、居住地を問わず、どなたでも応募することが可能です。

**【応募条件】**  
① 応募作品のテーマは限定していませんが、海難防止や救難活動の啓発、安全に関する内容が望ましいです。  
② 応募作品はデジタルデータ(縦横)と、A4サイズの印刷物(横書き)の両方を提出してください。  
③ この募集は著作権フリーのイラスト、写真、キャラクターの複製や第三者の権利を侵害するもの、著作権フリーに該当しないものの複製を禁じます。  
④ これらの条件に違反している場合は、採用決定後、いつでも無効とさせていただきます。  
⑤ 応募ごめい、必要に応じて採用決定後、著作権者の権利となります。  
⑥ 同一人無条件でも応募可能です。

**【募集の届出】**  
当ホームページに掲載されている「マスコットキャラクターデザイン募集要項」(PDF)を必ずご覧ください。

**【応募先(問い合わせ先)】**  
〒112-0007  
東京都中央区新富町4丁目7番地 海難センタービル  
公益社団法人 日本水難救済会 事務局(庶務課)  
電話 102-2222-9391  
Eメール info@jnr.or.jp  
募集締切 11月 31日

**MRJ 公益社団法人 日本水難救済会**

## マスコットキャラクターデザインの募集

日本水難救済会では、海で遭難した方々の救助を行うボランティアを支える当会の活動について広く国民の皆様にご理解を深めていただくため、青い羽根募金をはじめ様々な広報啓発活動の機会に使用するマスコットキャラクターのデザインを平成24年11月1日より一般公募いたしました。

平成25年1月31日までに、6歳から81歳まで幅広い国民の皆様から合計800点を超える応募をいただきました。

当会では、2月から

- ① 当会のイメージに合い、その活動をアピールできるもの
  - ② 親しみやすく、世代を問わず広く愛されるもの
- を選定のポイントとし、青い羽根募金運営協議会の委員や全国の地方水難救済会の関係者等幅広い皆様のご協力をいただき、合計4回の選定を経て、応募された作品の中から最優秀賞1点及び優秀賞5点を選定、3月上旬に当会ホームページで審査結果を発表することとしております。